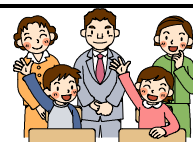


学校だより あしたか

富士市立吉永第二小学校 令和6年9月

臨時号



令和6年度「前期学校アンケート」へのご協力、ありがとうございました

保護者の皆様にご協力いただいた学校評価アンケートの結果をご報告させていただきます。このアンケートで示された子どもたちと保護者の皆様の思いを参考に、より良い教育活動の推進に向けて、吉二小職員一同力を合わせて取り組んでいきたいと思ひます。

A:そう思う B:だいたいそう思う C:あまりそう思わない D:まったくそう思わない E:わからない
(上段) 児童アンケート (下段) 保護者アンケート (割合は A+B の割合)

	質 問 事 項		割合 (%)	
			児童 保護者	教員
1	みんなで考えたり、活動したりすることは楽しい。	児童	100%	100%
	お子さんは、学校生活を楽しんでいる。	保護者	100%	
2	自分には良いところがあると思う。	児童	84.9%	100%
	お子さんは、「自分には良いところがある」とわかっている。	保護者	95.1%	
3	「自分らしくともにかがやく」に向けて、自分のことも友達のこと大切にしながらがんばっている。	児童	98.6%	100%
	お子さんは、北中校区の小中一貫教育目標「自分らしくともにかがやく」に向けて、自分や友達を大切にしながらともに成長していると感じる。	保護者	98.4%	
4	「挑戦しよう 失敗は宝もの」にむけて、自分や友達、周りの人のいいねを見付けたり広げたりしている。	児童	94.5%	100%
	お子さんは、吉二小の重点目標「挑戦しよう 失敗は宝もの」に向けて、自分らしく取り組んでいる。	保護者	96.7%	
5	自分たちの地域が好き。	児童	98.6%	90.9%
	家庭で、北中校区の地域のよさを話題にすることがある。	保護者	62.3%	
6	地域の人が、学校のためにボランティア活動をしていることは、よいことだと思う。	児童	100%	90.9%
	地域の人（クラブ講師ふれあい協力員、PTAなど）が、学校のボランティア活動をしていることで、子どもたちの学びや学校生活がよりよくなっている。	保護者	98.4%	
7	家の人に学校からのプリントを渡したり、学校の様子を話したりしている。	児童	97.3%	100%
	学校は、ホームページやお便りなどで子どもたちの様子を伝えている。	保護者	98.4%	
8	授業に楽しく参加している。	児童	97.3%	100%
	お子さんは、授業に楽しく参加している。	保護者	96.7%	
9	授業でやっている内容がわかる。	児童	91.8%	90.9%
	お子さんは、授業に楽しく参加している。	保護者	96.7%	
10	使ったものを片付けたり、すすんでそうじをしたりしている。	児童	95.9%	81.8%
	お子さんは、使ったものを片付けたり、使った場所をきれいにしたりしている。	保護者	57.4%	
11	学校や家で、よく本を読んでいる。	児童	73.6%	72.7%
	お子さんは、読書に親しんでいる。	保護者	62.3%	

12	外で元気に遊んだり、体を動かしたりすることは楽しい。	児童	95.9%	72.7%
	お子さんは、外遊びや体力づくりを楽しんでいる。	保護者	80.3%	
13	友だちの考えを、分かろうとして温かい気持ちで聞いている。	児童	100%	100%
	お子さんは、家族をはじめ、人の話を分かろうとして聞いている。	保護者	82.0%	
14	自分の考えをノートに書いたり、発表したりできる。	児童	86.3%	90.9%
	お子さんは、自分の考えや気持ちを、分かりやすく書いたり伝えたりできる。	保護者	82.0%	
15	みんなのためになる仕事を、進んでしている。	児童	98.6%	100%
	お子さんは、みんなのためになる仕事を進んでしている。	保護者	82.0%	
16	時間をしっかり守っている。	児童	90.3%	100%
	お子さんは、時間を意識して生活している。	保護者	70.5%	
17	忘れ物をしないように、しっかり準備している。	児童	89.0%	81.8%
	お子さんは、忘れ物をしないように、学校の準備を計画的に行っている。	保護者	68.9%	
18	自分からあいさつができる。	児童	95.9%	100%
	お子さんは進んで挨拶ができています。	保護者	93.4%	
19	パソコンやタブレットの使い方が分かり、授業で役立てることができる。	児童	94.5%	100%
	お子さんは、家庭学習でもパソコンやタブレットなどのICT機器を使うことができる。	保護者	88.5%	
20	ゲームやテレビの時間、携帯電話やスマートフォンの使い方や時間などの、約束・ルールを家の人とつくり、しっかり守っている。	児童	90.4%	81.8%
	お子さんは、ゲームやテレビ、スマホの使用時間などについて、家庭で決めた約束やルールを守っている。	保護者	68.9%	
21	「早寝・早起き・朝ご飯」をしている。	児童	86.3%	90.9%
	家庭で「早寝・早起き・朝ご飯」を意識した生活を送っている。	保護者	86.9%	
22	危険を感じたとき、自分の命を守るために、考えて行動することができる。	児童	91.7%	100%
	お子さんは、緊急時に自分の命を守るために考えて行動することができる。	保護者	100%	
23	困ったときに、相談できる人がいる。	児童	98.6%	100%
	お子さんは、悩みや困ったことを相談できる人がいる。（家族・先生・友達など）	保護者	82.0%	
24	毎日、安心して登校することができる。	児童	98.6%	100%
	学校は、お子さんを安心して任せることができる場所になっている。	保護者	100%	

*□は100%、下線は90%未満の項目です。

【記述欄から】

- ・少人数だからこそ一人一人に発言の機会が多く、先生目も行き届き、素直ないい子たちが多いと感じます。
- ・小中一貫でやっていただいているので、中学と同じ日に授業参観などがあると助かります。
- ・病欠等をして遅れてしまった場合、授業の進みが早い為、もう少し勉強のフォローをしっかりとしてほしいです。

- ・子どもたちの間で問題が起きた時に、あと回しにせず、その場で注意し、ちゃんと1つ1つ解決をしてあげてほしいです。
- ・「リーバー」「連絡帳」「本読みカード」などを通して、日頃からすぐに連絡をしていただけていることに安心しました。

学校は、保護者と地域、職員の思いによって、より良いものへと変わっていく場所です。お困りのことやご意見がありましたら、ぜひご一報ください。

【 重点目標との関わり 】 グランドデザインで、数値目標として掲げています。

	No	内 容	数値目標	児童	保護者	教員
徳豊かな人間性	8	学校が楽しい	100%	97.3%	96.7%	100%
	1	協働する楽しさ	100%	100%	100%	100%
	2	自分に自信をもつ	90%	84.9%	95.1%	100%
	18	すすんであいさつ	95%	95.9%	93.4%	100%
知 資質・能力の育成	9	授業が分かる	95%	91.8%	96.7%	90.9%
	19	ICT 機器の活用	100%	94.5%	88.5%	100%
	11	読書を楽しむ	95%	73.6%	62.3%	72.7%
体 健やかな体と心	12	すすんで体力づくり	100%	95.9%	80.3%	72.7%
	21	心身の健康	100%	86.3%	86.9%	90.9%
	22	安全への理解	100%	91.7%	100%	100%
	23	悩みを相談できる	100%	98.6%	82.0%	100%

*□は目標達成、下線は数値目標を10%以上下回る項目です。

【成果○と課題△】

◇豊かな人間性

○子どもは、みんなで協働して学習や活動をする楽しさを感じている。

△大人からは楽しそうに過ごしているように見えても約15%の児童は自信がないと感じている。

「他者との協働」は将来をしなやかに生きるためには重要な力であると考えます。学校では、引き続き協働する楽しさを感じられる場面を設定し、その良さや価値についても伝えていきます。そして、子ども一人一人の良さをとらえ、具体的な言葉にして積極的に伝えていきます。ご家庭でも、小さなことからでよいので、できたことをほめたり、うまくいかない悔しさに共感したり、うまくいかなくても挑戦してみたことをほめたりする声掛けをしてみてください。

多くの子どもが自己肯定感を感じられるように、授業だけでなく、学級活動やたてわり活動など様々な場面で、子どもたちが成長できる機会を多く設定し、成長を実感できるように工夫していきます。

◇資質・能力の育成

○授業が分かる、と実感している子どもが多い。

△授業が分かったと答えた子どもが多い反面、授業が分からないと感じる子どもがいる、教員は「全員が納得解を得られた」という実感を持っていない。

△読書活動への評価が低い。

昨年度と比較して、日常の学習や活動では「分かった！」と表情を輝かせている子どもが多く見られています。反面、単元テストや昨年1月の定着度調査の結果から見ると、日常の学びを生かしきれていない実態が見て取れます。じっくりと落ち着いて物事を考える学習課題、日常の「分かった！」をより引き出す効果的なICT活用法、実際に書くことを大切にしたい体験的な学習など、子どもの学びの様子に合った支援を工夫していきます。

また、子どもや保護者の中には、タブレット等の使い方や役立て方に不安があるようです。引き続き授業で利用しながら、授業でも家庭学習でも活用できるようにしていきたいです。

読書については、全体的に数値が伸び悩んでいます。これは、読書への取り組みとして、単に読書量を増やすだけでなく、読書の質を上げていこうと取り組んでいることから関係しているのではないかと思います。読書の質を上げるつつ読書の楽しさを感じられる手立てとして、子どもへの言葉掛けだけでなく、委員会や教師による本の紹介や、ボランティアの方々や教師による読み聞かせを行っています。このような取り組みを続けることで、自分の知らない世界、体験したことのない事柄等への、視野や見識を広げ、豊かな情操を育み、読解力の向上につながると考えています。

本の購入に際して、子どもの声も参考にしています。読書を楽しいと感じられるように、本の紹介、読書旬間の取組で読書を推進するほか、調べ学習などを通して、様々な本に親しむ機会を意識的に設

◇健やかな心と体

○子どもたちの中に「自分の身は自分で守る」という意識が芽生えてきている。

△子どもと大人との間で体力づくりに対する認識に違いがある。

避難訓練や防犯訓練の成果が表れ、自分の命を守ることの意識については、高まっているように思います。天候の悪化や自然災害時の行動についても引き続き指導をしていきますが、ご家庭でも地震や噴火の危険が高まったときに、こういった行動をとるべきか話題にし、約束事などを決めておくとういでしょう。

体力づくりについては、気候の変化等により運動が制限されますが、子どもの体力を把握しながら、運動する機会を設定します。ご家族や地域で、休日に運動場を利用して遊んだりスポーツを楽しんだりすることを、おすすめします。

「22 安全への理解」については、今後も子ども1人1人が安心して学校に登校できるように、子どもたちの表情や言動に注意を払い、積極的に声を掛けていきたいです。子どもたちの様子については、様々な形でより伝わるように伝え方も工夫していきたいと思います。

「23 悩みを相談できる」については、教師が子どもたちへどんな関わり方をしていくのかだけでなく、ご家庭との連携をより深めていく必要があると感じました。子どもたちだけでなく、保護者の皆様からも相談をしやすい、スクールカウンセラーなどの外部の相談利用についても情報を発信していきたいと思います。

ご協力をありがとうございました。学校アンケートに関わらず、日常の様子で気になることがありましたら、ぜひ、学校にお知らせください。学校とご家庭と連携して、子どもたちをより良く育てていきたいと思っています。子供たちにとってより良い学校にしていくために、吉二小職員一同、一層力を入れて取り組んでいきたいと思っています。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いします。